

# 向学館通信

2009・8・27

## 中3生、高3生は、正念場をむかえる！

来春、高校・大学へ進学する人は、今からが本番です。集中力を高めて、効率のよい学習で志望校合格を目指しましょう！ まだ何ヶ月もあると、のんびりしていると、すぐに冬が来て焦りますよ。備えあれば憂いなし。

## 夏休みはどうでしたか？ 基礎から強化した人は飛躍につながります。

部活などで、真っ黒に日焼けした人が増えました。元気そうで、見ていても気持ちがいいです。暑い夏に体を鍛えるのは、素晴らしいことだと思います。

さて、向学館の夏期講習も終わりました。

ここで、夏期講習について、簡単に振り返っておきます。当塾では、生徒の力量を普段から把握することに努めています。本当の力量は、学校の定期テストでは、正確に現れないことがありますので、当塾独自の「実力テスト」をしたりして、各人の弱点を見つける努力をしています。

夏期講習は、各人の弱点の克服に重点を置いていますので、塾独自の「復習プリント」や「補強教材」を使って、授業を行います。たとえば、中学生の英語では、「英語復習プリント」を使って中1の初めのところからやる人、初歩的な部分はよくわかっている人は、その途中から復習するなど、個人別の対応を行っています。しかも、たとえば、疑問文がうまく作れない人、不定詞のことが分からない人、受動態の文が作れない人、などなど、多様な生徒の弱点に対して「補強教材」を用意して、該当する単元をくりかえし、理解するまで教えるようにしています。

数学でも、「中1復習プリント」「中2復習プリント」「図形復習プリント」などで弱点の発見をかねた復習を行います。そして、その中で弱点が分かれば、さらにその部分の補強をします。

このように、徹底した個別対応の「底上げ」や「基礎力の強化」を行っています。なかには、中学生でも、小学生のレベルにまでさかのぼって基礎固めをするケースも出てきます。とくに、数学の文章題で「割合」や「速さ」などは、小学校レベルに戻って学習するケースがかなりあります。

このように、学校の進度に気を使わずに基礎固めができるのは、夏期講習の時期しかありません。この時期にしっかりと基礎から鍛えた人は、秋からの学習に飛躍できます。

## 自学自習のためのソフト「すらら」を活用しましょう。

これまでも向学館では自習に来ることを勧めてきました。しかし実際は、「自習に來い」といわれても、何を勉強すればいいのか、どういうやり方がいいのか、生徒は自分でなかなか判断が付きません。さらに、難しい問題にぶつかるとうとうしていいかわからなくなり、そこから先に進めなくなります。

このように、本当の自習はかなりの実力がなくて難しいものです。この困難を克服するために自学自習の案内役として「すらら」を導入しました。「すらら」は、ていねいに解説もしてくれます。間違ったところは、類題がくりかえし出てくるので、「すらら」に従って学習を進めれば、力がついていくようになっています。

このソフトでは、数学・英語・国語の3教科の自習学習ができます。中学校の学習範囲の単元がすべて、このシステムで学べます。難易度も、易しいレベルから高度なレベルまで入っています。

ご家庭にあるパソコンでも、塾のパソコンでもこのソフトを使えます。パスワードと個人のIDを入力すれば、インターネットからソフトを呼び出せます。

各人の基礎力の強化が目的ですから、誰がどの科目の何の単元をやるかは、向学館で指導します。やったかどうか、その結果などは、家でしても塾でしても、塾のパソコンにデータとして組み込まれます。

料金は、「ID登録+すらら使用料 月額2000円」で、科目数、使用時間、使用場所に関係なく、この料金で何時間でも使えます。